

令和5年度 第2回山形のみちづくり評議会 議事要旨

■ 日時・場所

令和6年1月16日（火）14:00～15:30（山形県自治会館4階401号会議室、WEB併用）

■ 出席委員

柴田会長、貝山委員、塩原委員(WEB)、宮原委員、鈴木委員(WEB)、工藤委員(WEB)、
宇留野委員、森田委員、小林委員 9名

■ 議事概要

議題 山形県道路中期計画2028の見直しについて

（事務局説明）

- ・ 山形県のみちづくりを取巻く現状、計画策定後に顕在化した課題、R5第1回山形のみちづくり評議会での意見や県政アンケートの結果等を反映した、山形県道路中期計画2028改訂版（原案）の概要版を提示した。
- ・ 今年度実施した県政アンケートの結果では、重要だと考える施設に「道路」を選んだ回答が最も多かった。また、優先的に推進してほしい道路施策については、「自然災害に強い道路の整備」、「通学路や交差点などの交通安全対策」、「橋やトンネルなど道路施設の老朽化対策」の順に回答が多かった。

➡山形県道路中期計画2028の見直しについて委員より意見をいただいた。

■ 令和5年度 第2回 山形のみちづくり評議会における主な意見

議題について、以下のような意見が挙げられた。

議題 山形県道路中期計画 2028 の見直しについて

- ・ 各施策の主な取組内容に掲載する実施事業例等の写真は、課題を的確に表現している写真の選定や、補足説明を追記する等の工夫をした方がよりわかりやすい。
- ・ 山形県のみちづくりを取巻く現状・社会的な背景に掲載している「少子高齢化を伴う人口減少の加速」、「産業の動向」、「社会保障関係費の増によるインフラ投資の圧縮」については、対応する施策がわかりづらいため表現の工夫が必要と考えられる。
- ・ 施策①の対面2車線で暫定供用区間の高規格道路における正面衝突事故防止対策については、ワイヤロープの設置に不向きなトンネルや長大橋梁における安全性を高める検討が必要だと考えられる。
- ・ 施策④の県土強靱化に向けた、災害に強い道路ネットワークの整備推進について、今年1月1日に発生した能登半島地震も踏まえ、ここ数年で緊急性をもって整備する箇所をクローズアップしても良い。
- ・ 大雨や地震時には、トンネルの坑口周辺法面等も被災する可能性があるため、そのような箇所の把握、GPSを活用したモニタリング、対策等についても引き続き検討するとよい。
- ・ 道路が通行止めになることで、集落が孤立してしまうところは本県にもいくつかあるため、ヘリコプターが離着陸可能な場所を確保するなど、道路以外でのアクセス手段についても考えていく必要があると考える。
- ・ 施策⑥の効率的で持続可能な維持管理に関する取組については、山形県とNEXCOで知見や技術の情報交換を行いながら実施することでより効果的になると考えられる。
- ・ 施策⑧の道路におけるにぎわい創出については、今後重要な視点となる。既存道路を活用したイベント開催によるにぎわい創出ももちろん重要であるが、イベント開催を想定した道路整備の視点も検討いただきたい。
- ・ 山形県には美しい景色が多いため、自転車道整備をはじめとした道路のハード対策がそれぞれのまちづくり及び地域性と合致する形で、ソフト対策が活きるまちづくりを進めていただきたい。
- ・ 道路交通情報に加えて観光情報等のプッシュ型情報発信をスマートフォンなどの情報端末機器を活用し、推進しても良いのではないかと。
- ・ 最近では外国人観光客も回復傾向にあり、道路標識等の多言語表記の推進が重要だと感じている。

以上